

岩手山の火山活動に関する 火山噴火予知連絡会統一見解

岩手山では、地震活動や地殻変動が継続している。

山体西側の浅い地震は、この数ヶ月増加傾向にあり、5月22日にはこの領域として今までで最大の地震が発生し、震源域が西方に拡大した。また、浅い低周波地震（深さ5～10km）も次第に増加している。深い低周波地震（深さ約30km）は、増減しつつもほぼ一定の割合で発生を続けている。

GPS観測等によれば、山体西側を中心とする地殻変動が継続している。

大地獄谷及び姥倉山稜線における5月の火山ガス測定によれば、昨年9月に比べ噴気温度の上昇やガス組成の変化が認められ、地下の温度が上昇したことが推定された。

このように、岩手山の火山活動は、最近若干上向き傾向にあり、引き続き活動の推移を注意深く見守る必要がある。